

第3学年「図工」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果**
- 毎時のテーマとめあてを意識して、どのような活動にも意欲的に取り組むことができる。
 - 学習で使う道具や材料に関心を持ち、色や形を作り出したり、表現したりすることを楽しむことができている。
- 課題**
- ▼ 見本に頼り、身近な生活から想像することが苦手なところがある。
 - ▼ 道具の準備や片付けまでの見通しをもって取り組むことが難しいところがある。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを見つける力。
- ◇ 材料や用具の特徴を生かして、自分の表したいことを表す力。
- ◇ 用具の使い方を理解し、画材や材料の特性を生かして表現する力。

具体的な改善策

主体的に学習に取り組む態度のための工夫

- めあてを具体的に提示し、その日のゴールを明確にする。
- 材料や用具の特徴が伝わるように素材や表現方法を比べて、表現の多様さを示す。

言語活動の工夫

- 造形的な見方を提示し、振り返りなどで形や色の特徴を言葉で表す機会を増やす。
- グループになって他者の作品の魅力を言葉で伝える。

ICT活用の工夫

- パワーポイントで情報を整理し、作業過程を分かりやすく表示する。
- 実演機を使って制作方法や制作ポイントを伝える。

課題解決力育成の工夫

- 「発見タイム」を設け、友達の作品の良さや工夫を見付け、自分の制作に生かしていく。
- 自分のイメージを周りの友達や教員に共有しながら、共に考えていくように促す。

達成目標

- 感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを見つけることができる。
- 材料や用具の特徴を生かして、自分の表したいことを表すことができる。
- 用具の使い方を理解し、画材や材料の特性を生かして表現することができる。